



様式第3号 (第5条関係)

# 環境報告書

令和 5 年 7 月報告

事業所名	清水口建設 株式会社			認定 ランク	☆☆☆
概 要	所在地	松本市和田 4705-3			
	代表者	代表取締役 伊藤 浩一			
	概要 (従業員 数・ 事業内容 等)	総合建設業 産業廃棄物収集運搬 処分業 39人 (令和5年7月現在)			
	担当者	所属	営業部	名前	中島 祐一郎
	連絡先	電話	0263-47-7000	FAX	0263-47-0753

## ○ 環境に配慮した取組み内容

環境に対する理念・方針	当社は、企業から個人の方まで多数の顧客を有し、総合建設業、産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬・中間処理及びリサイクル関連事業を営んでいます。当社の立地する自然豊かな城下町松本市の周辺環境に配慮し、これらの活動を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。
環境に関する取組み目標	1.環境関連法規制その他の要求事項を順守し、環境保全に取り組む 2.廃棄物の排出抑制・分別を徹底し、リサイクル率の向上に努める 3.事業活動における電力やガス等の節約に取り組み、二酸化炭素の排出抑制に努める 4.水資源の使用を節減します 5.グリーン購入やグリーン調達の実現に取り組む 6.地域社会と協調・調和を図り、共に地域の発展に努める 7.全社員の環境教育の推進に努める

具体的な取組み内容	<p>電力の二酸化炭素排出量削減</p> <p>機械・車両燃料の二酸化炭素排出量削減</p> <p>自動車燃料の二酸化炭素排出量削減</p> <p>一般廃棄物の削減</p> <p>産業廃棄物の削減</p> <p>節水</p> <p>省エネ型の電気製品の選択、燃費の車両の選択</p> <p>事務用品のグリーン購入</p> <p>製品への環境配慮</p> <p>施工への環境配慮</p> <p>リサイクルセンター周辺の清掃</p> <p>環境教育の充実</p>
-----------	---

<p>実施結果（成果）</p>	<p>電力の二酸化炭素排出量削減 2023 年)          和田事務所目標 19269.5 k g -co2 実施 14615.8 k g -co2 ○          センター目標 126001.7. k g -co2 実施 127889.1 k g -co2 ×</p> <p>機械・車両燃料の二酸化炭素排出量削減 2023 年          和田事務所目標 76564.6kg-co2 実施 63377.8kg-co2 ○(ガソリン)          和田事務所目標 30268.6kg-co2 実施 50957.6kg-co2 × (軽油)</p> <p>一般廃棄物の削減 2023 年度          和田事務所目標 925.4 k g 実施 760.4 k g ○</p> <p>節水 2023 年度          和田事務所目標 126 m<sup>3</sup> 実施 132 m<sup>3</sup> ×          センター目標 624 m<sup>3</sup> 実施 616 m<sup>3</sup> ○</p> <p>地域住民にリサイクルセンターの環境測定結果について、報告を行った。</p>
<p>課題・問題点と その改善に向けて</p>	<p>電力の二酸化炭素排出量削減については、和田事務所では、使わない電気をこまめに消し、エアコンの温度管理を行う事により電力の削減を行った。</p> <p>破砕機投入前の小割をしっかりと行い、破砕機の電力の削減に努めていきたいと思う。</p> <p>車両燃料の削減については、ハイブリッドカーの導入を行い燃料の二酸化炭素削減につながった。          これからも、ハイブリッドカー、ハイブリッド重機の導入を検討しており、更なる削減を行いたいと思う。</p> <p>一般廃棄物については、ポスター等で、社員に啓発を行い、削減を行った。</p> <p>現場の受注量の増加に伴い、軽油の使用量が大幅に増えた。ハイブリッド重機等の利用を推進し、減量に努めたい。</p>
<p>その他、 アピールポイント等</p>	